

堤防決壊、 水稲・園芸作物に壊滅的被害 令和2年7月豪雨、 山野地区を呑み込む

7月豪雨災害により被害を受けられたみなさまに心より
お見舞い申し上げます。
災害支援・経済支援等普段の生活を取り戻せるように早
期復旧に向けて国・県・市・関係団体一丸となって取り組
んで参ります。

降り続いた雨は7月3日未明より急激に
降水量が増え、伊佐市では山野・平出水地
区に甚大な被害をもたらしました。

山野川を水源に持つ石井集落では、堤防
の一部が決壊し、田植えが済んで間もない
田んぼに大量の土砂を含んだ濁流が一気に
流れ込み、園芸用ハウスや道路も一瞬にし
て押し流しました。

水が引いた後にはおびただしいほどの土
砂や石、アスファルト残骸などが堆積。今
年の収穫は皆無に等しく再開にはかなりの
時間がかかりそうです。今から最も水が必
要な水稲栽培。寸断された水路の応急処
置に追われる農家の姿がそこにありました。



▲雷木の滝
ライブカメラの映像
(7月4日 11時10分)



道路が冠水し、川のように
なっている様子（押野々、
浜田梨園入り口）



山野川の堤防が決壊し土砂が流れ込
んだ石井集落（写真上部が上流側）

大きな岩や流木が流出した田んぼ。
道路や電柱にも大きな被害がでま
した（石井）



堂免橋の被害状況（平出水上）



- ①土手の崩壊 ②土砂に浸かった田んぼ
- ③道路が冠水し通行ができない状況（県道布計山野線）
- ④市内各地で道路の崩壊や陥没が発生
- ⑤荒平橋に残った流木が、水量の激しさを物語っています

避難所利用者（延人数）

7月4日	40人
7月5日	22人
7月6日	12人
7月7日	9人
7月8日	5人
7月9日	3人



伊佐市及び人吉・球磨の災害警報（時系列）

市町村名	伊佐市			人吉市			球磨村		
	受信時間	発令時間	内容	受信時間	発令時間	内容	受信時間	発令時間	内容
7月3日	19:52	19:48	大雨警報発表		21:39	大雨警報発令	22:55	22:20	避難勧告発令【警戒レベル4】（球磨村全域）
	22:10	22:06	洪水警報発表		21:50	土砂災害警戒情報発令			
					22:52	洪水警報発令			
7月4日				22:59	23:00	避難勧告発令【警戒レベル4】3地区			
		4:50	大雨特別警報発令	3:48	4:00	避難勧告発令【警戒レベル4】全員避難 宝来町ほか8地区	3:46	3:30	避難指示（緊急）【警戒レベル4】全員避難 村内全域 「命の危険が迫っている、あらゆる手段で身の安全を確保せよ」
	4:53		避難所開設命令 6時開設 市内19か所	4:17	4:00	避難勧告発令【警戒レベル4】全員避難 人吉市全域			
	5:00		避難所開設 自治会長連絡指示		4:50	大雨特別警報発令			
	5:50	6:00	避難勧告【警戒レベル4】 避難所開設 早期避難呼びかけ	5:22	5:15	避難指示（緊急）【警戒レベル4】 全員避難 人吉市全域 「命を守る行動をとれ」			
	11:22		自治会長連絡指示 人的被害、大規模災害の確認要請						
	11:52	11:50	大雨特別警報解除						
12:13	12:00	避難所閉鎖							

人吉球磨郡の自治体等情報発出状況を見ると、住民が寝静まった深夜から未明にかけて避難勧告や避難指示が矢継ぎ早に出され、河川の増水が急激だったことが予想できます。メールの内容からしても、いかに危険な状況だったのかがい知ることができます。午前5時過ぎには人吉市長自ら放送で避難を呼びかけています。

■住宅の被害状況(自治会別)

※人が住んでいない家や店舗・倉庫だけの被害は含んでいません。

床上浸水		床上浸水		床下浸水	
石井	3件	石井	9件	平出水中央	1件
本町	1件	上松	3件	小木原上	1件
		荒平	2件	小木原上中	1件
		平出水上	2件	里町	1件
		仲町	1件		

■道路・河川・橋梁の被害状況(8月4日現在)

道路	尾ノ上石井線ほか100路線
河川	永野平川(小川内)ほか20か所
橋梁	堂免橋(平出水上)ほか1か所
概算復旧工事費	481,693千円



堂免橋

■農政関係の被害状況(8月4日現在)

水稻	54.7 ha	65,065千円
かぼちゃ	7 ha	12,786千円
根深ネギ	5.6 ha	3,637千円
葉たばこ	2.4 ha	100千円
その他果樹		

- ・農業用ハウス
- ・牛舎
- ・鳥獣被害防止施設 (ワイヤーメッシュ・電気柵)
- ・農業機械等

被害額総計 158,525千円

■農地・農業用施設の被害状況(8月4日現在)

農地	78件(325筆)
水路	37件
道路	26件
橋梁	1件
頭首工	1件
概算復旧工事費	589,610千円



被害を受けた田んぼ



被害を受けたトマトのビニールハウス



ネギ農家被害状況

人吉市・球磨郡への災害支援も行っています

1. 未来館へ可燃ごみの受け入れ
7月27日から開始
102 t 搬入済(8月7日現在)
2. 災害派遣
人吉市役所へ市職員を派遣 8月18日～

伊佐市被災者への支援

13・14・21
ページをご覧ください。



7月9日 二階俊博衆議院議員



災害現場を視察した二階衆議院議員（写真中央右）。三反園知事（当時）を通じて、災害支援に関する要望書を提出しました。

8月12日 進藤金日子参議院議員



現地視察を行った進藤参議院議員（写真左）は、農業被害の状況について市職員から説明を受け、被災農家の要望を聴きました。

進藤議員は、他の被災市町村の例を上げながら災害復旧に向けた補助制度の活用について言及し、「現場のご意見をどんどん国に届けてください。近年は全国的に災害が多いことから、なかなか資材が手に入らないという悩みも聞いていますが、関係機関が連携して改良復旧に取り組みましよう」と話しました。

7月22日 江藤拓農林水産大臣



江藤農林水産大臣（写真左）が、山野川の氾濫によって大きな被害を受けた石井自治会の現場を視察しました。

市や国の職員から農業被害状況等の説明を受けた江藤大臣は「国として全力で支援をします。関係機関が協力して、できるだけ早い改良復旧に取り組みます」と、力強い言葉で被害農家のみなさんを激励しました。

8月6日 塩田康一鹿児島県知事



現地視察に訪れた塩田知事（写真右）は、県や市の職員から、航空写真や集計データをもとに農業や土木の被害状況について説明を受けたあと、被災農家からの要望を丁寧に聴き取りました。

「鹿児島の農業を守るとともに、災害復旧に向けて全力を尽くします」と早急の対応を職員に指示しました。

被災者の声



小水流竜司さん
（トマト農家）

当日は見回りをしていたのですが、午前7時から8時の1時間ほどであったという間に水位が上昇し、山野川が決壊しました。

石井自治会は被害が大きく、私自身もトマトハウス9棟が全壊・半壊の被害がありました。

ハウスの再建には時間がかかるので不安もありますが、江藤農水大臣や塩田知事にもご支援の言葉をいただいたので、市や国や県の補助制度を活用しながら、何とか農業を再開できるように頑張ります。

7月4日 13時30分
鶴田ダムの放流の様子



曾木の滝分水路・鶴田ダムの効果

今回の豪雨で市内の田んぼが冠水しました。主流の川内川の増水はもとより内水（住宅地や道路からの排水）の影響もあります。

内水対策では水門操作員の方々が荒天にもかかわらず、川間川第2樋門をはじめとする9か所の水門開閉作業にあたっていただきました。内水対策ポンプも市職員が4日深夜から昼過ぎまで稼働させましたが、ポンプの能力をはるかに超える水量で冠水を防ぐことはできませんでした。

国は平成18年災害を機に増水時に水を速やかに下流に流し上流域の浸水を緩和するための分水路を

3年かけて整備、また、ダムの貯留量を増やし、下流域の増水を緩和するダム再開発事業を平成19年から30年にかけて整備しました。「これらの整備があったから浸水を最小限にとどめることができました」と土地改良区関係者は語っています。

川内川支流の河川も浚渫工事や堤防の拡幅工事が進んでいます。今後、被害を受けた山野川や井立田川等2級河川・準用河川の整備を進めていかなければなりません。



山野川堤防

住んでいる場所を知ること

伊佐市は手のひらを広げたような地形になっています。真ん中が伊佐平野そして指に沿って水系があり、住宅地や田畑が存在します。

山間部にお住まいの人は山の高さ・起伏・岩石の有無、沢や川の位置、立木の種類など、平野部にお住いの人は水路や河川の線形などよく知っておく必要があります。安全な場所なのか危険性のある場所なのか、過去にどのような災害があったのか、その土地に昔から住んでいる人に聞いてみるのも良い方法です。避難経路や避難所をあらかじめ決めておきましょう。

平成29年4月に各家庭に配布した「防災ハンドブック」に防災に関する情報や危険区域など地図上に示してありますので再度、ご覧になってください。

紛失された人は市役所窓口へ備えてあります。



命を守る行動とは・・・

「早めの避難」につきます。自

治体が出す避難情報やテレビ・ラジオ等メディア情報のほか自主的な判断で安全な場所に逃げるのが大切です。

市では自治会長を通じて、避難所開設等の連絡を行い、早め早めに避難所の体制をとっています。

堤防決壊や土砂崩れなど発生時間の予測がつきません。避難指示が出されてから行動しても避難の途中で巻き込まれてしまう場合があります。避難の空振りを恐れず、ご自身と家族の命を守る行動をお願いします。

避難所の一覧や防災気象情報の入手先、日頃の備えなど広報いさ6月号をご確認ください（広報紙のバックナンバーは市ホームページに掲載）。また、地域の防災訓練に参加して、もしもの事態に備えましょう。

伊佐市総合防災訓練

9月6日（日）8時、伊佐市総合防災訓練を実施します。

携帯電話をお持ちの人には緊急速報メールまたはエリアメールを発信します（内容：避難勧告発令）。